



令和7年度 東京都立白鷺特別支援学校 学校経営計画

令和7年度は都立白鷺特別支援学校創立40周年の節目の年を迎えます。過去の足跡を振り返りながら、新たな10年の方向性を定め、本校の教育活動を充実させるだけでなく、生徒たちのくらしの場である江戸川区の特別支援教育のさらなる推進と理解推進に努め、学びをくらしにつなげる学校としての確固たる足場を固めると共に、地域への提案を担う学校を目指して取り組みます。

新型コロナウイルス感染の対策のための様々な制限はなくなり、より積極的な教育活動が可能となりました。その中で、職業教育の更なる充実を軸に、障害特性に応じた指導力を高め、特に青年期の心と身体との取り組みの充実を図り、健康で健やかなくらしの実現が図れる生徒の育成に力を注ぎます。

社会の変化の速度はますます早くなり、その結果、日常生活や職業生活、余暇や娯楽といった部分についても多様な価値観への対応が求められています。旧態然とした企業倫理や社会通念は打ち砕かれ、より一層、自分の思いや願いを伝える力が求められる世の中になりました。本校は、校内の研究研修活動を充実し指導力を高めると共に、様々な外部専門家や関連機関の力を活用しながら、社会の要請に応え、説明責任を果たせる教育活動の実現に力を注ぎます。

最後に、本校が、生徒・保護者、教員のみならず、かかわる全ての人が、顔の見えるつながりを気築き、生徒の成長に力を発揮できる関係づくりの中心となれるよう力を尽くします。

I 本校の教育

1 目指す学校

学びをくらしにつなげる学校

- ◎学び とは 学校での教育活動全てのこと
- ◎くらし とは 主に家庭生活、職業生活、余暇活動のこと
- ◎つなげる とは 江戸川区や卒業後の関連施設との情報共有や具体的な継続支援のこと

2 目指す生徒

地域で元気にくらしていける人

- ◎地域 とは 自分がくらす江戸川区のこと
- ◎元気 とは 意欲があり健康な事
- ◎くらしていけるとは できることは自分でやること

3 目指す教育

- これまでの学校教育で培った「できる」を「つかう」に深化させる教育
- 卒業後のくらしに役立つ学びと意欲を高める教育
- 障害が中・重度の生徒の社会参加の力になる教育
- 社会に特別支援教育や障害がある人のくらしを提案できる教育

II 中期的目標と達成に向けた方策

1 一人一人のくらしにつながる教育の実現

- (1) 卒業後の豊かなくらしの実現のための指導の充実を図る。
- (2) くらしの質の向上を図るための指導の充実を図る。
- (3) 健康・安全（防犯・防災）に関する指導の充実を図る。

2 授業力向上のための人材育成

- (1) 外部専門家を有効に活用し、より効果的な指導の実現につなげる。
- (2) 研修活動の活性化のための体制整備を推進する。
- (3) 若手・中堅・ベテラン全てが意欲的に授業づくり取組む環境づくりを整備する。

3 社会の変化に対応する効率的で説明責任を果たせる運営

- (1) デジタル活用を促進し、変化の速い社会への対応を推進する。
- (2) 授業づくり・専門性向上のための時間確保を推進する。
- (3) 働き方改革の促進のための校内組織等の体制を整備する。

4 多様な働き方を実現する職場環境の整備

- (1) 各種制度を活用しライフスタイルに応じた働き方が実現できる職場環境を構築する。
- (2) 相互補完を実現し、人材育成につながる指導及び業務体制を構築する。
- (3) 教職員の健康増進とメンタルヘルスの維持・向上につながる体制及び環境づくりを進める。

III 今年度の取組目標と方策（学校経営目標・行動計画）

1 暮らしにつながる学びの実現

- (1) 変化の速い社会に対応する新たな学びの仕組みを立案し発信する学校を目指す 推Ⅳ-2
- (2) 地域資源を生かした、卒業後の意欲につながる新たな活動を生み出す学校を目指す
- (3) 類型化した教育課程を生かした新たなキャリア教育を提案し進路指導の充実につなげる 推Ⅲ
- (4) 地域で安心してくらすために必要な知識・技能の獲得するための授業づくりを推進する
- (5) 卒業後の暮らしにつながる学びの充実とデジタルを活用した学びの共存を提案する 推Ⅲ-2
- (6) 外部専門家を活用した新たな心と身体の学びを提案し、卒業後の暮らしにつなげる
- (7) 創造的な学習活動・芸術文化的学習活動・体育的学習活動等の充実を推進する 推Ⅲ
- (8) 生徒の意欲が高まる、部活動の充実を推進する 推Ⅲ-3
- (9) 学校図書館を活用した言語活動・読書活動の取組みの充実させる 推Ⅲ-2

2 地域と連携した特別支援教育の理解推進

- (1) 地域の特別支援教育及び障害者理解の推進につながる取組みを充実させ発信する 推Ⅳ-2
- (2) 地域資産を生かしたくらしにつながる多様な学習活動を提案し、実践する
- (3) 地域の特別支援学校及び高等学校、教育委員会との連携・協同性の構築する 推Ⅲ-1
- (4) 高等学校及び関係諸機関等への相談・授業支援等の推進する 推Ⅳ-2
- (5) 外部専門家を活用した新たな心と身体の学びを提案し、卒業後の暮らしにつなげる
- (6) 地域中学校等と連携した円滑な入学相談業務を実現し、入学後の生活に活かす 推Ⅳ-2
- (7) 保護者等への相談・研修・理解推進活動の積極的な推進に推進する 推Ⅳ-2

3 卒業後の安心・安全なくらしにつながる学校生活の実現

- (1) 支援学校・支援学級との引継ぎ・連携を十分に図り課題のねらいを明確にした指導に活用する
- (2) 健康で充実した学校生活を送るための学校保健活動や健康教育を推進する
- (3) 高い人権意識による体罰・不適切な指導の根絶、いじめ及び児童虐待の未然防止の推進
- (4) 地域・関係機関等と連携を図った安心・安全なくらしにつながる指導の推進 推Ⅲ-2
- (5) 保護者と共同・協力したくらしにつながる安全教育及び防災教育を実現する 推Ⅲ-2

4 教育公務員としての資質及び専門性の向上

- (1) 組織的な人材育成を土台とした専門性の向上と教育公務員としての資質向上を実現する
- (2) 活発な相互授業参観と校外の研修会を活用した専門性を向上する
- (3) 経営方針を理解した積極的な経営参画と提案による組織の活性化を目指す
- (4) 各種法令・規定等を遵守した職務行動の徹底により服務事故を防止する
- (5) 個人情報을適正に管理し、規則・規定に則った職務行動により紛失事故の防止を徹底する
- (6) デジタル活用の進展を生かした効率的な公務の実現とライフワークバランスを確保する

5 組織力の発展・向上と組織的対応力の発揮

- (1) 担任間・教科担当間の情報共有と協力体制を強化し助け合える体制づくりを行う
- (2) 各自の強みや研修成果を SELA としてまとめ授業力並びに支援力の強化・向上につなげる
- (3) 教職員個々の能力を最大限に引き出すための組織力の強化・伸長のための体制整備を充実する
- (4) 経営企画室と協同した教育環境の整備を推進する（トイレ全面改修及び厨房改修等）

6 働き方改革の実現に向けた方策

- (1) デジタルを活用した多様な働き方に対応する新たな職場環境を提案し実現する 推Ⅲ-2
- (2) 一般需用費のセンター契約率60パーセントを達成する
- (3) 校舎内外の改修・整備を進め働きやすい職場環境の実現を図る
- (4) デジタル活用の特色を活かした業務の効率化を推進する 推Ⅲ-2
- (5) 健康診断の受診率100%を達成し、それを活かした健康な職務の実現を図る
- (6) 教職員のやりがい広がる職務を提案し、健康で意欲的な働き方の実現を提案する

《令和7年度の取組み目標を推進するための主な数値目標-Shirasagi GOAL12-》

- ① 授業力向上のための相互授業参観による指導助言力のブラッシュアップ … 参観率80%以上
- ② SELA（旧シェア・サポート研修）での教材展発表/校外研修報告…………… 一人 1 回（全員）
- ③ 校外の研修会への参加と校内への還元による組織的な授業力の向上 …………… 延べ60回以上
- ④ 授業改善・授業力向上のための外部専門家の活用 …………… 満足度 70%以上
- ⑤ 地区拠点校として都立高等学校等への支援のための連携・訪問支援等 …………… 9回以上
- ⑥ 個に応じたキャリア教育の推進による生徒個々の進路指導の実施 …………… 満足度90%以上
- ⑦ 心理の専門家による面接の実施等、心の指導の充実…………… 満足度 70%
- ⑧ 江戸川区と連携した防災教育の充実 …………… 満足度 80%以上
- ⑨ 体罰、個人情報に関わる服務事故の根絶 …………… 各々事故 0 件の維持
- ⑩ HP（ホームページ）を有効活用した広報（X の活用含む）…………… 更新年100回以上
- ⑪ 学校評価アンケートの保護者回答率の向上 …………… 前年比10%以上
- ⑫ 職員健康診断の受診率の維持・向上 …………… 全教職員100%